

環境改善へ認識あらた 環境施設見学会

環境部では、平成24年10月2日、横浜市環境科学研究所を見学に訪れました。この研究所の主な業務は、ヒートアイランド現象、生物多様性などの調査研究、放射能やダイオキシンなどの環境測定。

気温測定によるヒートアイランド現象の調査として、屋上緑化やゴーヤなど緑のカーテンによる省エネ効果、二酸化炭素削減成果が見られるとのことでした。

また小中学生を対象に子どもエコ大作戦や子どもエコフォーラムを開催しています。

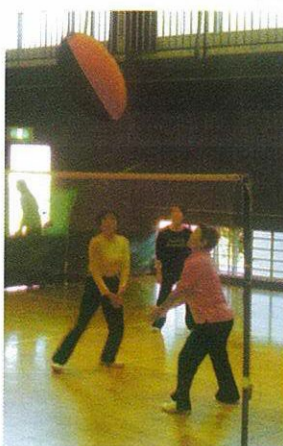
生物多様性の調査では、横浜市の緑化率が低下するにともない、河川、池、海の汚染がひどくなったことが分かり、改良に努めた結果、最近河川にアユの姿も見られるようになりました。

施設見学会参加者18名一人ひとり、環境改善の認識をあらたにしました。
環境部 中山 紀之

競い合うより楽しむこと ニュースポーツ大会開催

健康づくり推進員は例年健康講座としてウォーキングを行ってきましたが、近ごろウォーキング人口が増え、スピード、距離など個人差が大きくなり、目的地決定に苦慮するようになりました。そこで私たち推進員が、南部交流会で体験してとても楽しかった「ニュースポーツ」を、地域の皆さんにも体験していただきたいと平成24年11月14日増尾近隣センター体育室にて開催しました。

「ニュースポーツ」とは体力や足に自信のない方にも楽しんでいただけるスポーツで、今回は数ある中からカローリング、バッコウ、ヘルスパレーボールの3種類に挑戦しました。カローリングは床の上で行うカローリングで



このボールはどこへ飛んでいくの!!

です。バッコウは輪投げと玉入れの合体した競技。ヘルスパレーボールはどこへ飛んでいくか分からずバレーボールの経験者でも苦勞するような大きなボールで行います。

ゲーム感覚で普段は使わない筋肉を使って、誰もが楽しめる「ニュースポーツ」。皆さん良い出会いの場になりましたか。

健康づくり推進員副ブロック長 沼田 俊子

発達凹凸を理解して支援を

毎年1回、増尾と加賀の子育てサロンで合同研修会を行っています。今年度は、平成24年8月29日、NPO法人『自閉症サポートセンター』から専門相談員の高畑和子先生をお招きして「支援が必要な子どもへの対応—発達凹凸」というテーマで、発達障害について学習しました。両サロンのボランティア50名が参加。学生時代を思い起こすような熱心さでした。

発達障害はLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、自閉症、アスペルガー症候群などさまざまです。何かがまったくできないというより、できることとできないことに大きな差があったり(発達凹凸)、上手にできないことが多かったりするため、周りに理解されにくいとのこと。状態は一人ひとり異なるので、早期に専門家に相談することが大切。働きかけを工夫したり、環境を整えたりすることで、その子どもの生活がしやすくなるということでした。注意したり叱ったりすることは悪循環で「すかさずほめる。当たり前のことほめる」という姿勢が大事。一番困っているのは子ども自身。いじめの対象や引きこもりなどの二次的障害にならないように周囲の理解が必要です。子育てサロンなど地域全体で温かく見守っていくことが重要であると学んだ研修でした。

主任児童委員 押味 富士子



学生時代さながらに熱心にメモを取ります

お知らせ

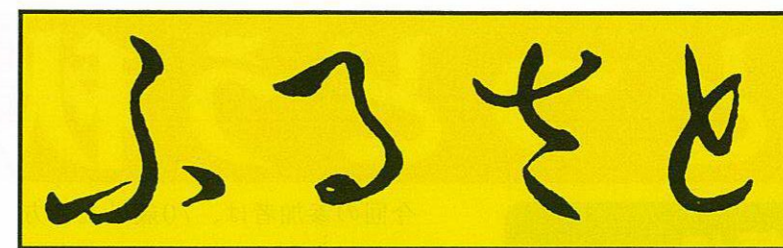
平成25年3月3日、芸能発表大会を開催します。詳細についてはチラシなどをご覧ください。

※平成24年11月11日に開催を予定しておりましたグラウンドゴルフ大会は、土中学校グラウンド除染作業のため中止いたしました。お詫び申し上げます。

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸その他)のお手伝いをして下さる方を募集します。

地区社協部 綾野(TEL 7172-2225)まで、お問い合わせ下さい。



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成25年1月 No.104

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211



あけましておめでとうございます

増尾地域ふるさと協議会 会長 幸喜 源松

一昨年の東日本大震災以降、防災への関心が深まり、昨今、その対策が急がれております。増尾地域ふるさと協議会は平成25年の活動の骨子として、この問題に全力で取り組んでいきます。その一環として災害時における避難所開設場所を近隣の高校、中学校、小学校にと検討中です。また、断水時の給水場所は増尾西小学校、ニッカウキスキー柏工場、柏市第3水源の3か所は決定。今後学校、地域ふるさと協議会などの役割を決め、円滑な行動が取れるよう体制作りをしていきます。町・自治

会ごとの避難所は、作成次第お知らせします。

増尾地域の高齢者率は23.8%という高い数字を示しており、軽視できない実情であります。柏市で取組んでいるK-net(柏市ネットワーク)は町・自治会や支援団体などの支援者が、登録している災害時要支援者を見守り一緒に避難することなどを目的としています。日ごろから、支援者だけでなく住民同士の見守りが不可欠です。

地域一丸となって、対策に取り組んでいきたいと考えております。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

新柏三丁目第一自治会

新柏三丁目第一自治会は、東武新柏駅から新柏桜通りを名戸ヶ谷方面に進んで、約500m地点から400mの間、通りの両側に位置しております。若い世代が多く子どもたちの元気な声があふれる地域です。

当自治会では重点方針の「防災・被災時に助け合える地域づくり」を目指してさまざまな活動に取り組んでいます。春、秋の災害避難訓練の他、春のお花見、子ども会と共催の夏の納涼まつり、秋の落語鑑賞会、冬のボウリング大会を毎年定例的に行っています。また、今年度は隣接する他のふるさと協議会所属の町会も自由に参加できる『柏八小学区ふれ

あいの集い』として第八小学校の体育館で「ヴァイオリンコンサート」を主催しました(3面に関連記事)。このような催しを通じて会員のつながり、近隣の町会との連携を深めています。

日常では、年2回の町内のごみ清掃、移動交番を設置して行う防犯パトロール、防犯灯のLED化、除染作業等、住みやすい環境づくりに努めて日々活動しています。

今後も安心、助け合いの住みよい地域を目指して活動していきたいと思っております。 会長 志水 房夫



人びとつどう秋 彩り豊かな秋のつどい

笑顔で元気に



平成24年度『敬老のつどい』がさる9月16日、開催されました。会場を増尾近隣センターから土中学校体育館に移して3年目、土中学校の全面的な協力を得て混雑もなく、大盛況の催しとなりました。

参加者は受付で各町・自治会役員と民生委員に迎えられ、記念品を受け取って前方の特等席から着席。開場30分後の午後12時半には、500席の8割がたが埋まりました。

まず土中学校による吹奏楽演奏から。すでにお馴染みで、皆さんにとっても親しまれており、そのパワーあふれる演奏でどんどん雰囲気が盛り上がります。

続いてリフレッシュ体操で体をほぐし、特別ゲストの金子純恵さんの登場となりました。金子さんは土中学校卒業生。現在ニューヨークで活躍中の邦楽演奏家です。地元増尾出身と紹介されると、皆、ぐっと身を乗り出し期待感が高まりました。箏、三味線の演奏、チリ出身の創作打楽器奏者パブロさんとの合奏には万雷の拍手が起きました。



こころ洗われる三味線の音色です

柏南高校吹奏楽部は、大きなコンクールで優秀な成績を取めている貫録の演奏。客席には演奏を終えた和服姿の金子さんも加わり、華やかな雰囲気を演出します。一同聴き入り、アンコールの拍手が鳴り止まないほどでした。

今回の参加者は、70歳以上の方441名でした。土地区には85歳以上の高齢者は67名おり、『ふるさと』100号に登場していただいた中村はた子さんが現在最高齢の102歳。転倒してから車椅子の生活を余儀なくされ、今は施設で穏やかな生活を送っています。ご家族が訪れると「ご苦労さん」と元気な声が返ってきます。

今年100歳を迎えられるのは新井トサさん(99歳)。素敵で笑顔で迎えてくださったトサさんは、青森県出身。ご自身を「じよっぱり」と言います。方言で強情のこと。そんなトサさんは、夕食前には必ず鏡に向かい身だしなみを整えます。ご主人の利助さん(83歳)と毎日、少しのビールと焼酎をたしなみます。この少しのお酒と楽しい会話が元気の源のようです。

ふるさと協議会 木村宏可・嶋田由紀江



利助さんの一途な想いから結婚。今も仲のよいお二人

健康教室 H24.10.8

体育の日、午前には太極拳、午後はヨガと二つの講座が增尾近隣センター体育室にて開かれました。

「太極拳は年をとってからも始められ、向上できるのがよさ」と講師の川喜多瑠宇子先生。30名の参加者は、自分の呼吸に合わせて、見よう見まねでゆっくりと気持ちよく体を動かしました。

午後のヨガ教室の指導はおなじみの石原由紀子先生。26名が参加し、おしり、へそ、のどの3か所を締める、“三つのヴァンダ(締めるの意)”をポイントに、首や腰を痛めない体の使い方を学びました。

体が気持ち良いと心もさわやかと感じられる二つの講座でした。文化体育部 稲本 順子

文化祭 H24.11.3・4

11月4日に増尾近隣センター和室で開催されたお茶会に、柏南高校茶道部が初参加しました。「正座が苦手な方はあぐらでもけっこうです」とありがたい一言。和菓子と抹茶をいただき、掛け軸や茶わんを鑑賞する体験は初めての方も多かったのでは。



見事なお点前を披露



柏南高生の力作

三世代ふれあい運動会 H24.10.13

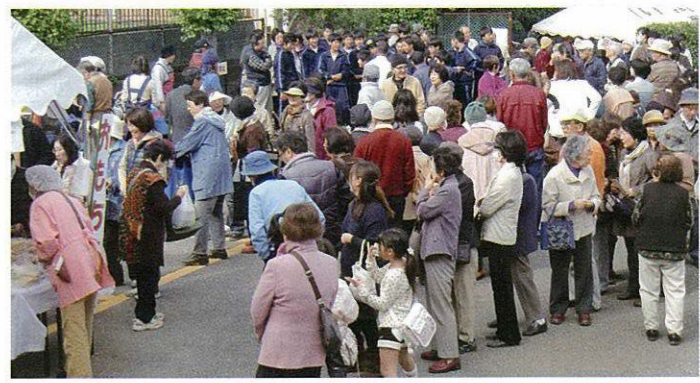


全員参加のパン食い競争に準備されたあんパンの数1000個超。市内有数の規模と歴史を誇る、柏第四青少年協主催の『三世代ふれあい運動会』が名戸ヶ谷小学校で開催され、名戸ヶ谷町会170名、新柏二・三丁目合同チーム42名などが参加。好天の中、町会対抗の真剣勝負に歓声が上がりました。

救命救急講習会 H24.11.25

防犯防災部主催『救命救急講習会』が増尾近隣センター体育室で開催され、町・自治会の代表22名が参加。柏市消防局指導による心肺蘇生法(胸骨圧迫、人工呼吸)やAEDの使用など、臨場感あふれる訓練は3時間に及び、取得後、全員に修了証が渡されました。

地域ふれあいのつどい H24.11.3



恒例の『地域ふれあいのつどい』が増尾近隣センター駐車場で開催され、地域の皆さんがつめかけました。

お餅・赤飯・焼きそば・おでん、合わせて2112食が、あっという間に売り切れ。「収益は地域福祉のために活用します」と話す伊藤薫実行委員長。

ヴァイオリンコンサート H24.10.19

第八小学校において、新柏三丁目第一自治会主催『中村ゆかりヴァイオリンコンサート』が開催され、八小児童と地域住民の皆さんと一緒に、国際的なヴァイオリニストの演奏を堪能しました。「小学校の体育館でこんなに素晴らしい音楽が聴けるなんて」とは参加者の一人。

この催しは、コミュニティー強化のための先駆的な事業に対して交付される柏市民公益活動補助金制度に、町会



コースが新設されたことで実現したものです。

今後の地域活動の新たな可能性を感じさせてくれました。

